

特別支援教育と特別支援教育コーディネーターについて

朝霞第一小学校特別支援教育部

新年度になって、新しい学級でスタートした生活も、1か月が過ぎました。

おさんは、学校や学級に慣れたでしょうか。勉強や生活で困っていることはないでしょうか。

今年度も一小では、どの子も楽しく学校生活が送れるように、学校全体で全ての子どもたちを見守り育てていこうと、心ひとつに取り組んでいます。

そのためのお手伝いをさせていただき担当が、「特別支援教育コーディネーター」です。

今年度は、なのはな学級2組担任の「大門彩名」が担当しています。

勉強についていけない、発達に心配がある、という悩みや相談など、気軽に声をかけてください。

よろしくお願いいたします。

朝霞第一小学校の特別支援教育 Q&A

Q1、特別支援教育とありますが、通常級の児童も対象になりますか？

A1、学習の場を問わず、発達に特性があって、特別な支援を要する全ての児童が対象です。

Q2、特別支援学級(なのはな学級)では、どんな学習をしているのですか？

A2、「自分でできることを増やそう」という学級目標の下、一人一人の特性に応じた計画を立て、得意なことを伸ばし、苦手や困難に感じることを改善し、楽しく学校生活が送れるように指導しています。国語や算数は、一人一人に合わせた内容を、毎日スモールステップで学習しています。

また、「支援籍学習」という交流学习も行っています。具体的には通常学級にももう一つ籍を置き、教科学習や学校行事などを一緒に取り組んでいます。

Q3、通常学級に通っていますが、通級指導を受けられますか？

A3、朝霞市には、二種類の通級指導教室があります。朝四小と朝十小には「発達障害・情緒障害通級指導教室」があり、主に情緒障害や対人関係に課題があるおさんが通うことができます。また、朝五小と朝四小には、「難聴・言語障害通級指導教室」があり、発達に遅れがなく言語や発音に課題を持つおさん、難聴のおさんが通うことができます。いずれも教室のある学校に、週1～2時間、保護者の方に送迎していただき通います。まずは、担任の先生にご相談ください。

Q4、発達に特性や遅れがあるので、学級で配慮してほしいのですが。

A4、配慮をしてほしい内容、その理由や背景などについて伺います。そして学校としてその配慮が可能かどうか、また適切かどうかを相談させていただきます。その後必要に応じて、「個別の指導計画」を作成し、その配慮事項について学校で共有させていただきます。まずは、担任の先生にご相談ください。

Q5、家庭で悩んでいること、学校での支援、卒業後の進路や福祉サービスの利用などについて話を聞いてみたいのですが。

A5、まずは担任の先生を通じて申し込みをしてください。日程を調整します。医療機関や福祉機関で相談したことがあった場合などは資料をお持ちいただくとスムーズです。「今まで相談したことがない」という場合でも大丈夫です。「こんなこと・・・」と思わずに、気になるおさんについてお気軽にご相談ください。